

2023. 7. 3

# Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

●植物モニタリング活動 7/10、7/17、8/7 9:00 ため池公園梅林下集合→大門地区

●ニリンソウを守る会例会 7/9 10:00 大門ひろば集合

ロープ柵（ア）フロックの実生木抜き取り作業&救急用品の点検をみんなでやります。

\*やる気のある人の自発的活動の集まりです。どの活動も、誰でもいつでも参加できます。

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

## 熱中症「**嚴重警戒**」の季節になりました



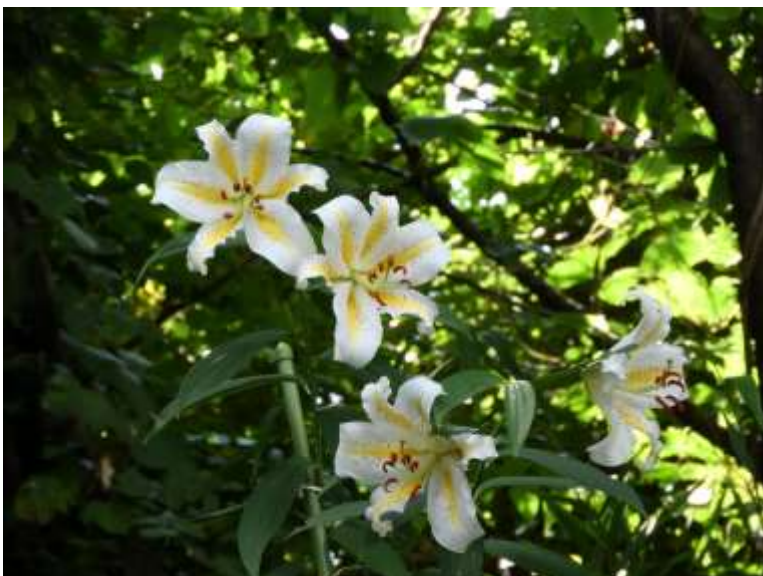
7/3のモニタリングは9:00のスタート時点で28.0℃、12:00の終了時点で31.0℃でした。猛烈な暑さというわけでも



なかったのですが、環境省の熱中症予防情報はモニタリングの時間中（左上写真の白円内）、上から2番目のレベルの「**嚴重警戒**」を示していました。今年の夏は例年よりも猛暑が予想されているので、これからの2、3か月は、ただ散歩して歩くだけでも十分な暑さ対策が必要になります。みなさま、お気を付けください。

## 野草の女王 ヤマユリ満開

野草のなかでも最も大きな花を咲かせるヤマユリがあちこちで満開でした。赤塚公園のいちばん西側の旧沖田家跡地の未公開エリアでは、近所の方が見守ってくれているようで、何本もの目印支柱が立てられていました。大事に保護していけば「ヤマユリの里」になるかもしれません。





## 花の自重で茎が折れてしまったヤマユリ

板橋区立郷土資料館裏のヤマユリは年ごとに大きくなっています。毎年、花を盗っていく人がいるので何本もの支柱を立てて保護してきました。その効果かどうかは分かりませんが盗む人はいなくなり、今年は大きな蕾を7つも付けて「最大クラスのヤマユリ」が花を開くのを楽しみにしていました。ところが、花自体の重さだと思いますが、茎が折れてしまいました。「保護する」って難しいものです。「来年はもっと工夫して、たくさんの花をもっても、ちゃんと咲いてくれるように考えようね」と、みんなで話し合いました。

## 暑くても今やらなければならぬ手入れ



ため池公園の東向かいの小さなスペース「八丁目の林」は貴重な野草がたくさん生えているので、保護活動でも大切にしている場所です。そこに、クサギの



実生木が茂るようになってきて、昨年7月には左写真上のようにうっそうとなっていました。それを刈り取って1年後の7/3はまたクサギが生えてきました。それを刈り取ると、藪の中から

ヤブカンゾウの花が現れました（右の写真のオレンジ色）。去年、手入れをしていなかったらヤブカンゾウはここに咲かなかっただけでしょう。手入れの成果があったわけです。だから、今年もちゃんと手入れをしました。

## 人の心 野草は知らず 保護柵からはみ出して咲く

人が立ち入らないように擬木で柵をつくったり、ロープを張っても、野草がそこに行儀よく生えてくれるとは限りません。赤塚公園の中でも大門地区にしか生育が確認されていないミズタマソウはどうしても擬木柵の外側、人が通る園路にはみ出して伸びてくるのです。そこで、人が踏みつけないように赤いリボンでマーキングさせていただきました。

生物多様性保護事業を展開している赤塚公園では、人が歩く場所でもところどころに保護ポールを立てたりマーキングがしてあります。ここは「野草の天国」。みなさまには、どうかご理解ください。

